

# 和歌山だより

平成23年 5月号



虎ヶ峰付近（田辺市）

## CONTENTS

1. 知事メッセージ…………… P1
2. 和歌山県政トピックス…P2～P7
3. お知らせ…………… P8～P12
4. ふるさと歳時記…………… P13



全国植樹祭へのご支援・ご協力

## 「大津波」

知事就任以来、頭の中に付きまとして離れなかったのが東南海・南海地震とそれによって起こる大津波のことでした。今後 30 年の間に起きる確率は 60～70%、我が県の被害想定では死者 5,000 人という恐ろしい数字が出ています。だから、それを軽減するために、公共施設の耐震化、住宅の倒壊防止、避難路・避難タワーの整備、防潮堤の強化、海岸線を走る国道 42 号線に代わるいのちの道路(高速道路、X 軸ネットワークなど)の早期整備など、あせる気持ちで進めてきたわけです。

その最中、和歌山ではなく、東北地方太平洋岸で、あの大地震と大津波が起こってしまいました。想像を絶する大被害で被害に遭われた方々に心からお見舞い申し上げます。しかし、それで済むわけではありません。我が県でも漁業関係者にかかなりの被害が出ていますので、これらの対応も必要ですが、それ以上に東北地方の被害を見て同じ日本人として、これを支援・救援しなければなりません。県では、大急ぎで支援対策本部を立ち上げて専門家の派遣、県民の皆さんからの協力とりまとめも含めた救援物資の送付に加え、被災者の一時引き受けを開始しました。和歌山県をあげての対応に加えて、関西広域連合としても 7 府県が相協力して行動しています。県民の皆さん、和歌山県民の温かい心を示して差し上げましょう。並行して東南海・南海地震に対する当県の対応が、今までのもので良かったのか、もう一度被害想定から見直して、より安全なものに改める必要があるかの見直しを開始しました。

このような時、人を救う任にある人々の献身と長たるものの勇気と智力が試されます。自衛隊や警察、消防、医療チームの方々の努力には頭が下がります。現地の知事や市長、町長さん方は実に立派です。奥さんが行方不明の中で懸命に住民のために頑張っておられるある町長さんの姿は涙なしには見られません。私も和歌山県の司令官として、日頃から覚悟を決めておかねばならぬと改めて思いました。それにしても、日本全体がこの戦後最大の危機を乗り越えなければならない時には、国の最高司令官は、野党の党首に担当大臣になってほしいなどと頼むのではなく、すべてを背負って指令を出し続けるぞという気概を示してもらいたいと思います。



「第 62 回全国植樹祭」で挨拶する仁坂知事

\*最近の県政の動きや県内の話題などをピックアップしてお届けします

### ●第62回全国植樹祭を開催しました！！

- ・「緑の神話 今 そして未来へ 紀州木の国から」をテーマに、5月22日、天皇皇后両陛下の御臨席を賜り、田辺市新庄公園において、第62回全国植樹祭を開催しました。
- ・記念式典には、林業関係者や地元の子どもたちなど約3,700人が出席。参加者全員が先の東日本大震災の犠牲者へ黙祷を捧げたあと、主催者である横路大会会長（衆議院議長）と仁坂知事が挨拶を述べました。

#### 仁坂知事挨拶

まずはじめに、東日本大震災により犠牲となられた多くの方々に謹んで哀悼の意を表しますとともに、被災地の一日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。

本日、天皇皇后両陛下のご臨席を仰ぎ、第62回全国植樹祭を開催できますことは、和歌山県民にとりまして誠に光栄であり、この上ない喜びであります。

各地からご参加いただきました皆様方、ようこそお越しくださいました。県民を代表いたしまして、心から歓迎申し上げます。

和歌山県は、日本の山々に樹木の種を播き青山となした神が鎮まると神話に記された「木の国」であります。

黒潮がもたらす温和な気候は、ブナや常緑のカシが混生する森をはじめ豊かで多様な森を育んでいます。また、優れた木材を生み出すために、丹精込めて育ててきたスギやヒノキの森もあります。

森は、木材を生み出し、きれいな水や空気を生み出し、洪水や山崩れを防いでくれます。私たちは、森の恵みに囲まれて暮らしてきました。

しかし、時代の変化とともに、林業が成り立ちにくくなり、管理が不十分な森が増えているなかで、山に住む人々が営みとできる林業の再生、民間の力を借りた森の保全などに積極的に取り組んでいます。

私たちは、かけがえのないふるさとの木や森を守り、次の世代により良い姿で引き継いでいかなければなりません。

私は、未来を担う子供たちに、その意義を理解してもらうことが大切と考え、ドングリを播くことから始め苗木づくりに取り組んでもらいました。この会場に苗木を育ててくれた大勢の子供たちが主役となって参加してくれています。

こうした経験を通して、森を守っていこうという気持ちを、子供たちの心にしっかりと育んでいきたいと思えます。

折しも、今年は「国際森林年」にあたり、世界各国で森を守る意識高めるこの年に、植樹の神話が息づくここ和歌山で、「緑の神話 今そして未来へ 紀州木の国から」をテーマに、全国植樹祭を開催できますことは、誠に意義深く、「紀州木の国」から、緑化運動の輪が、全国にさらに世界に、大きく広がっていくことを切望しています。

結びに、本大会の開催に、ご尽力を賜りました多くの皆様に厚く御礼申し上げますとともに、国土緑化運動の更なる発展と、ご参加の皆様のご健勝、ご活躍をお祈り申し上げまして、ご挨拶といたします。

- ・お手植えでは、天皇陛下がウバメガシ、ヒノキ、ナギ、皇后陛下がイチイガシ、ヤマザクラ、タブノキの苗木をそれぞれ、植えられました。引き続いてのお手播きでは、天皇陛下がコウヤマキとオガタマノキ、皇后陛下がクマノミズキとトガサワラの種を播かれました。
- ・「森林、林業を再生し、豊かな森林や木の文化を未来へ」とする大会宣言が読み上げられたあと、全国植樹祭のシンボルである、木でつくられた地球儀が、仁坂知事から次回開催県である山口県の二井知事に手渡され、記念式典は無事終了しました。



お手植えをされる天皇皇后両陛下

- ・植樹祭全体は3部構成で、記念式典に先立つプロローグは、“神話から受け継ぐ日本の「和」”として、法螺貝や太鼓、創作ダンスで木の国の歴史が表現されました。
- ・記念式典は“今を生きる私たちの元気な「歌」”とし、上富田町出身の坂本冬美さんと中高生による 今大会のための記念曲「愛樹の誓い」が披露され、式典の雰囲気盛り上げました。
- ・記念式典後のエピローグでは“ここから始まる未来の「山」”とし、参加者全員がドングリを植えた竹ポットをかかげて山を表現し、植樹祭を締めくくりました。
- ・また、会場内には、サービス広場が設けられ、紀州材や紀州備長炭の紹介ブースをはじめ、田辺特産の海草「ヒロメ」が入ったうどんや「たなべえサンド」などの名産を味わえるブースや梅干しや地元銘菓の物産販売も行われ、全国各地からの参加者で賑わいました。



- ・県では、今回の植樹祭の機運を、次の世代へとつなげるために、今後も森林・林業の再生のために様々な施策に取り組んでいきます。

### ● 国際和歌山県人会が開催されました。

- ・5月22日、海外及び国内の和歌山県人会の皆さんが一堂に会する「国際和歌山県人会」が和歌山市で開催されました。
- ・これは、全国植樹祭の開催を機に、和歌山県人会の国際的な交流と親睦を深めてもらうことを目的に開催したものです。
- ・アルゼンチン、南カリフォルニアなど海外を含め9県人会から38人の方々が出席。仁坂知事は「県人会の皆さんが和歌山出身であることを誇っていただける和歌山県を作っていくので、これからもご協力をお願いする」と挨拶しました。
- ・国内、海外の県人会が一同に集まるのは今回が初めてのことで、鮪や鯨など紀州の味覚に舌鼓をうちながら、ふるさとの懐かしい話に花が咲き、和やかに親睦を深める、ひとときとなりました。
- ・県人会の皆様には、今後もふるさと和歌山のためにご支援・ご協力をお願いいたします。



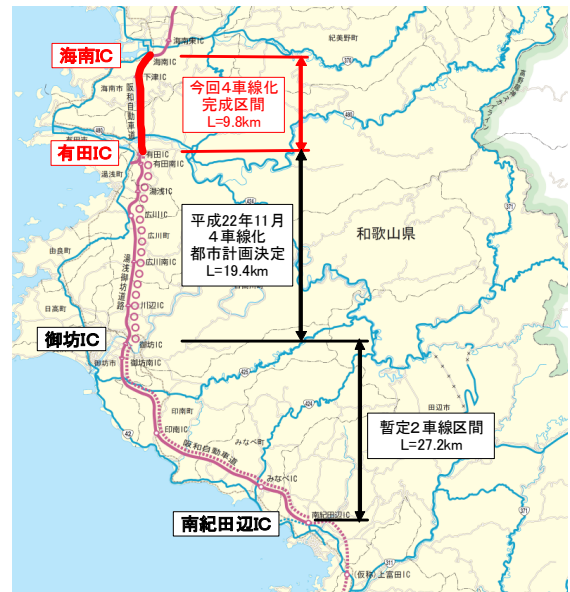
### ● 熊野古道が三つ星の評価！ ミシュランマンが県庁にやってきました。

- ・仏ミシュラン社が発行する旅行ガイド「ミシュラン・グリーンガイド・ジャポン」の改訂版で、「高野山」に続いて「熊野古道」が最高の三つ星評価を獲得しました。
- ・発行日となった5月13日には、日本ミシュランタイヤ社が仁坂知事を表敬訪問し、熊野古道の高評価の理由やその他の観光資源の掲載状況について説明を行いました。
- ・仁坂知事は「尊敬しているガイドブックに評価されたことは非常に名誉であり、多くの人に実際に訪問していただき、熊野の良さを感じてほしい」と話しました。
- ・平安衣装をまとった県の観光キャンペーンスタッフや、三つ星の先輩である高野山を代表して金剛峯寺のキャラクター「こうやくん」がミシュランマンをお出迎えし、華やかな訪問となりました。
- ・県では今後、この評価を欧米のみならずアジアや国内のプロモーションにおいて積極的に活用していきます。



● 阪和自動車道(海南 IC～有田 IC)が完全4車線化になりました！！

- ・ 5月21日、阪和自動車道「海南 IC～有田 IC 間」の4車線化が完成し、午前6時から供用が開始されました。
- ・ この区間は慢性的に渋滞が発生していましたが、供用開始となったこの日は、週末にもかかわらず、渋滞はなく、車の流れはスムーズなものとなりました。
- ・ 安全で快適となった高速道路を使って、ぜひ、和歌山へお越し下さい。



● ～和歌山モバイル情報館～（携帯ポータルサイト）がリニューアルしました！

- ・ 携帯電話向けの和歌山県ホームページ「和歌山モバイル情報館」に、県の魅力を紹介するモバイル版「和歌山県ガイドブック」を開設しました。
- ・ 「世界が認めた和歌山の魅力」「和歌山の味と伝統」「和歌山の自然」などの項目に分かれており、それぞれの項目ごとに、写真とともに和歌山の魅力が凝縮して紹介されています。皆様も、ぜひ一度ご覧下さい。

モバイル情報館アドレス <http://wave.pref.wakayama.lg.jp/mobile/index.php>



### ●販路は東京にあり！～わかやまビジネスサポートセンター開設～

- ・「わかやまビジネスサポートセンター」が東京メトロ虎ノ門駅、霞ヶ関駅からそれぞれ徒歩5分以内という、ビジネス街にある複合施設「フォレスト虎ノ門」内に開設されることになりました。
- ・この施設は、現在、首都圏に支店や営業所を持たない県内企業の首都圏への販路開拓を支援するために県が開設するものです。
- ・センターには、2.3㎡のブースが6ブース設置され、各ブースにはデスクやロッカーなどの基本備品が備えつけられています。また、施設内には商談スペースや展示スペースも併設されているほか、円滑な事業展開に向けた専門家による相談やアドバイスを受けることができるサポート体制も整えています。
- ・現在、入居者を募集しており、審査委員会での審査を経て、入居企業が決定される予定です。

詳細については企業振興課ホームページをご覧ください

<http://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/061000/homepage/index.html>

### ●アマゾンジャパンが和歌山県フェアを開催します！

- ・「和歌山県フェア」が2,000万種類を超える商品を取り扱う、総合オンラインストア「アマゾン」で、開催されることが決定しました。
- ・「アマゾン」内に昨年11月に開設された、地域の特産品や伝統工芸品を取り扱う「Nipponストア」内で行われ、近畿の府県では初めてです。
- ・本フェアは7月下旬から開始予定で、開催に先立ち、6月の2日・3日の両日、和歌山市と田辺市で、参加事業者向けの説明会も開催されます
- ・「アマゾン」は、オンラインストアでは国内最大規模の集客力を誇り、ここでのフェア開催は、県産品の販路拡大に大きな期待が寄せられています。

### ●株式会社赤井工作所が本社工場を増設。

- ・株式会社赤井工作所は、新幹線用大型保線用車両や空港用コンテナリフトローダーなどさまざまな製品の設計製作を行っている会社で、岩出市に本社・工場があります。
- ・この度、工作機械の需要回復や省エネ関連装置の設備需要の拡大に伴い、現工場の隣接地に新たに第二工場を増設することになりました。
- ・これで、平成19年からの企業立地件数は92件となります。

● 第1回和歌山県地震・防災対策総点検専門会議を開催

- ・5月22日、地震・防災対策総点検の専門家会議の初会合が開催されました。
- ・専門家会議のメンバーは河田恵昭関西大学社会安全学部長を座長に、片田敏孝群馬大学大学院教授、小池信昭和歌山工業高等専門学校准教授、牧紀男京都大学防災研究所准教授の4名で、県が実施する防災・減災対策の総点検について、それぞれの専門的見地から助言を行いました。
- ・仁坂知事は冒頭、「専門家の意見をいただきながら、和歌山県の防災・減災対策についてきちっと創り上げていきます」と挨拶をしました。
- ・会議には、県をはじめ市町村の防災担当者ら120名あまりが出席。各市町村から現在進められている避難場所等の点検や見直しの状況を報告しました。
- ・「ハザードマップはあくまでも想定に過ぎない。想定にとらわれず、より高くより安全な場所へ逃げるのが重要。」などと避難方法に関する助言が専門家から出されました。
- ・また、「釜石市での防災教育が非常に効果が高かった。」と、子どもに対する防災教育の重要性についても意見があり、仁坂知事は、「学校での防災教育は非常に大切であり、総合学習の時間を活用した防災について教える授業を進める」ことを表明しました。
- ・専門家会議は、今後も開催し、中長期的な対策についても検討を行います。



● 「高速道路のあり方検討有識者委員会」で仁坂知事が意見を発表

- ・5月19日「第3回 高速道路のあり方検討有識者委員会」が国土交通省で開催されました。地方自治体を代表して、仁坂知事が高速道路のあり方について意見を発表しました。
- ・仁坂知事は、「国土の骨格を形成する高速道路は、国の責任で最後まで整備すべき。」ことや、「県民のチャンスを保障し、東南海・南海地震の地震・津波災害に備えた命の道である近畿自動車道紀勢線のミッシングリンクを早期に結合すべきである。」と意見を述べました。また、有田以南の慢性的な渋滞対策や対面交通による衝突事故対策などのため、南紀田辺までの4車線化に早急に着手すべきであることなどを強く訴えました。

高速道路あり方検討有識者委員会とは

今後の高速道路の整備、管理、料金、負担金のあり方について幅広く検討するため、国土交通省が設置したもので、主な検討課題は

- ・無料化社会実験や料金割引の評価
- ・将来の料金制度のあり方
- ・高速道路の整備手法

となっています。





## アクションプログラム 2011

## 和歌山県農水産物・加工食品の販売促進戦略 を策定しました

平成20年3月に策定した「和歌山県長期総合計画」に掲げた目標実現に向け、県では、県産農水産物・加工食品の販売促進のためのアクションプログラムを毎年策定し、「わかやま産」の国内外への販売促進に取り組んでいます。

特に、今年は東日本大震災によって、地震、津波による直接被害だけでなく原発事故に伴う国内外での風評被害など、日本全体がこれまでに経験したことの無い危機に瀕するという状況をふまえ、物産振興を通じた被災地の支援や、「わかやま産」だけでなく、海外での「日本産」の復活にも貢献するための目標も掲げています。以下、本年度のアクションプログラムのあらましをご紹介します。

## ■アクションプログラム2011の概要

## I 国内対策

## 1 「わかやま産」ブランドの向上

首都圏の百貨店や高級レストランへの提案活動、有名シェフとのタイアップによる県産食材のPRなどに加え、県産品の機能性に関する情報を収集して、マスコミに提供するなど「わかやま産」ブランド向上への取り組みを展開します。



伊勢丹新宿店でのわかやまフェア



アシアカエビ（銀座イタリー亭）

## 2 販路開拓

国内で開催される見本市でありながら、海外への販路開拓も狙える総合食品見本市FOODEX JAPANに加え、今年は量販店チャンネルに強いスーパーマーケット・トレードショーへの取り組みも強化します。



FOODEX JAPAN



スーパーマーケット・トレードショー

## Ⅱ 海外市場開拓

これまでの4年間の海外市場開拓の取組成果をもとにターゲットとなる国や地域の消費者の嗜好性、輸出しようとする県産品の特性等をふまえ、フェアや見本市への出展等も戦略的な狙いを定めて展開します。

また、海外からのお客様に「わかやま産」を知ってもらうため、国際線機内食への県産品の提案活動も新たに実施します。



国際見本市 SIAL2010

## Ⅲ 推進基盤の強化と農産加工を軸にしたアグリビジネス構築

J Aグループの新しいロゴマーク「ココ・カラ。和歌山」を活用した県産農産物の販売強化の取組みや首都圏でのPR活動への支援など、J Aグループと戦略を共有しつつ、「わかやま産」ブランド向上の取組みを展開します。

また、県内各地で地域をあげて販路開拓に取組む産地への支援を行うほか、県内食品メーカーには「売れる商品づくり」への支援を行うなど、生産者の取組みを多角的にサポートします。



ココ・カラ。和歌山



生産者向けセミナー（FCP和歌山 brunch）

## Ⅳ “がんばろう日本”の取組み

被災地と手を携えた海外での販路開拓などジャパンプランド復活を目指した取組みや東北の物産振興のお手伝いによる被災地支援などの取組みを展開します。



農林水産省 輸出用ロゴマーク

詳しくは食品流通課ホームページをご覧ください。

(<http://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/071700/index.html>)

わかやま産品販路開拓アクションプログラム2011」を策定しました！  
和歌山県工業製品の販売促進戦略  
～ものづくり王国「和歌山」を世界に～

## 1 直接的な販売の支援

販路開拓の必要性はますます高まっており、県内企業の販促活動の機会を提供します。

- (1) 専門的な国内外の展示会への集団出展
  - ・ ニューヨーク国際ギフトフェア(アメリカ)、アンビエンテ(ドイツ)への出展
  - ・ 機械要素技術展(東京)、東京インターナショナルギフトショーへの出展
- (2) 専門展示会への個別出展支援
  - ・ 国内外の専門展示会へ出展する企業を個別に支援
- (3) 海外での商談会開催
  - ・ 中国山東省で企業商談会を開催し、山東省企業との商談機会を提供
  - ・ トルコへ経済ミッションを派遣し、トルコ企業との個別商談会等を実施
- (4) 国内展示商談会の開催
  - ・ 大阪ガス(株)等の大企業と県内企業との取引商談会を開催
  - ・ 県外バイヤーや県外の発注企業と県内企業との商談会を大阪市などで開催
- (5) 海外バイヤーの招聘
  - ・ ジェトロと連携し、日用品・雑貨・テキスタイル等の海外バイヤーを招聘し、商談会を開催
- (6) 中国市場に向けた展示会への出展支援
  - ・ オールチャイナ・レザー・エキシビション(上海)、インターストップ・アジア・エッセンシャル(香港)などへの出展を支援
- (7) 首都圏での活動拠点の提供
  - ・ 東京都内にレンタルブースを設置
- (8) 産地組合の販路開拓活動支援
  - ・ 産地組合独自の展示商談会の開催や国内専門展示会への出展を支援

## 2 販路開拓の側面支援

販路開拓に取り組む企業への相談体制や各種セミナーの開催など支援機能を強化し、優良県産品奨励制度であるプレミアム和歌山のブランド力強化支援を図ります。

- (1) 海外進出への相談体制の充実
  - ・ 海外ビジネスに精通した専門アドバイザーによる相談体制を充実し、輸出に取り組む県内企業を支援
- (2) 輸出促進セミナーの開催
  - ・ 輸出に関連した海外ビジネスセミナーや講座を開催し、最新情報と必要なノウハウを県内企業に提供

(3) **プレミアム和歌山のブランド力確立と強化**

- ・ 県内で生産・製造された製品のうち、和歌山らしさ・和歌山ならではの視点で選定した「プレミアム和歌山」のブランド力を確立するため、様々な広報ツールの活用・展示会等への出展により、全国にアピールします。

3 **ものづくりと販売促進への一体的な支援**

産地企業が持つ技術、ネットワーク等を活かした新商品開発や、本県の地域資源を活用した新商品開発の取り組みを研究開発・試作から販路開拓まで支援します。また、優れたビジネスプランや商品を持つ県内企業を表彰し、個別に支援します。

(1) **地場産業の新しいブランドづくりへの取り組み支援**

- ・ 企画・提案型のビジネスモデルを目指そうとする産地企業の取り組みを支援

(2) **地域資源を活用したものづくり支援**

- ・ 地域資源、共同研究成果を活かした商品開発や農商工連携による商品開発等の取り組みを支援

(3) **県内企業の奨励制度**

- ・ 和歌山県ソムリエ委員会の認定企業、奨励企業や優良県産品(プレミアム和歌山)推奨制度の審査委員特別賞推奨品などにより支援。

(4) **県内企業の情報発信**

- ・ 受発注情報の収集・提供による取引支援
- ・ インターネットを活用した県内企業の情報発信

\* 産業別担当者制度と一体となって積極的な情報の収集・提供等に努めるとともに、わかやま産業交流サロン事業や産学官連携などから生まれてくる新たな事業のシーズやニーズを踏まえ、事業内容の検討や見直しを行いつつ、本プログラムの推進に全力で取り組んでいきます。

詳しくは企業振興課ホームページをご覧ください。

<http://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/061000/homepage/index.html>

## ふるさと和歌山応援寄附のお礼のご案内

ふるさと和歌山応援寄附の取組に多数の皆様のご理解とご賛同をいただき誠にありがとうございます。

お陰をもちまして、平成22年度は103人の方から4,890万5千円の温かいご寄附をいただきました。また、心温まる力強い応援のメッセージも多数いただきました。紙面をもちまして厚く御礼申し上げます。

お寄せいただいた寄附金は、次のとおり活用させていただきましたのでご報告申し上げます。

### ふるさと和歌山応援寄附金の活用

平成22年度寄附総額	48,905,000円
前年度基金積立額	3,252,468円
合計	52,157,468円

活用額

ふるさと和歌山応援  
基金積立※  
6,875,468円

※平成24年度以降の  
事業に活用予定

### 寄附金活用事業

#### 「世界遺産『紀伊山地の霊場と参詣道』の保全や活用」として

熊野本宮大社第一殿・第二殿ほか2棟の保存修理

200万円

#### 「わかやま国体の開催に向けての準備」として

国体開催のための施設整備

50万円

#### 「わかやまの美しい海づくりの推進」として

磯ノ浦、片男波、浜の宮の海水浴場の整地やトイレの整備

100万円

#### 「わかやまの文化財の保護を進める」として

海南市の国宝長保寺大門・多宝塔の保存修理

60万円

高野町の重要文化財金剛三昧院、金地著色梅花雉子図の保存修理

60万円

湯浅町の重要伝統的建造物群保存地区内の民家の保存修理

60万円

#### 「学校図書館や県立図書館の蔵書の充実」として

県立学校の図書館の蔵書の充実

100万円

県立図書館の蔵書の充実や県民・市町村への貸出し推進

3,872万円

#### 「わかやま植樹祭の開催に向けての準備」として

苗木の育成や、植樹地の整備

26万2千円

この他の施策も強力に推進しますので、本年も引き続き、ふるさと和歌山応援寄附を通じて和歌山県を応援していただきますようお願い申し上げます。

寄附金税制のことなど詳しくは和歌山県ホームページの「ふるさと和歌山応援サイト」をご覧ください。また、「ふるさと和歌山応援サイト」では、寄附申出時に公表に同意していただいた方のお名前や応援メッセージを掲載していますので、ぜひご覧ください。

○ふるさと和歌山応援サイト（URL <http://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/furusato/>）

### ～ 植樹祭の舞台 田辺市の博物館・美術館を訪ねて ～

#### 田辺市立美術館

- ・平成8年に開館した田辺市立美術館は、全国植樹祭の式典会場となった「新庄総合公園」の一角にあり、紀州三大文人画家といわれる祇園南海・野呂介石・桑山玉洲をはじめ、田辺市や和歌山県にゆかりのある画家の作品を多数所蔵しています。
- ・コレクションの中心となっているのが、田辺市出身の故脇村義太郎氏と禮次郎氏の兄弟が収集した作品です。兄は経済学者として、弟は実業家として、活躍する一方で、美術への造詣も大変深く、様々な作品を収集しました。
- ・現在「脇村義太郎と禮次郎珠玉のコレクション」と題した特別展が開催されており、二人の卓越した鑑識眼と美術への思いにふれることができます。

#### 南方熊楠顕彰館

- ・「南方熊楠顕彰館」は熊楠が残した膨大な蔵書や資料を恒久的に保存し、熊楠の研究を推進するために、熊楠が晩年を過ごした邸宅の隣接地に平成18年に開館しました。
- ・館内では、パネル等で熊楠の業績を紹介しているほか、パソコンで所蔵資料の検索やデジタル画像の閲覧もできます。
- ・隣接する旧邸も、一般公開されており、机や顕微鏡などが置かれ当時のままに復元された室内からは、熊楠の往時の姿を偲ぶことができます。

#### 熊野古道なかへち美術館

- ・熊野古道中辺路の近露地区の山間に佇む一面ガラス張りの建物が「熊野古道なかへち美術館」です。
- ・旧中辺路町出身の野長瀬晩花と渡瀬稜雲の作品を中心に地元ゆかりの画家の作品や資料を収集・展示しています。
- ・ガラス張りの建物からは美しい熊野古道の景色を眺めることができ、古道の憩いのスポットともなっています。
- ・また、この美術館は建築界のノーベル賞と言われるブリッカー賞を受賞した妹島和世氏・西沢立衛氏の共同設計によるもので、建築作品としても非常に注目を集めています。



田辺市ホームページ <http://www.city.tanabe.lg.jp/>

## ～編集後記～

新緑の色増す季節となりました。天皇皇后両陛下を和歌山にお迎えし、田辺市の新庄公園で「第6回全国植樹祭」が滞りなく無事終了しました。

今回の植樹祭で、大きな役割を果たしたのは、なんと言っても県内各地の小学生から高校生までの大勢の子ども達です。

「緑の神話 今 そして未来へ 紀州木の国から」を大会テーマに掲げたこの式典は、プロローグでの創作演舞を手始めに、大会記念曲の大合唱、天皇皇后両陛下のお手植え、そしてエピローグと、全般にわたりあらゆる場面に子ども達が登場し、式典を支え、そして盛り上げました。

この日のために、子ども達はそれぞれの立場で何度も何度もリハーサルを重ね、晴れの舞台に臨んだのだと思います。その練習の成果が見事に出ていました。

全国からの多くの参加者を前に、堂々とそれぞれの役割を立派に果たす和歌山の子ども達を見て、和歌山県の未来は明るいと感じたのは私だけではないと思います。加えて、子ども達は、この貴重な体験を心の糧にして立派に成長することと思います。

植樹祭が終わり、次はいよいよ「紀の国わかやま国体」が平成27年に行われます。和歌山から全国に向けて「夢」と「希望」、「感動」を発信できるよう、県全体が一丸となって取り組んでまいりますので、引き続き皆様方の一層のご支援、ご協力をお願いいたします。

季節は梅雨へと移っていきます。体調を崩されることも多い季節となりますので、皆様、どうぞお体をご自愛下さい。

知事室秘書課長 藤川 崇

★「和歌山だより」Web版を和歌山県ホームページにアップしています。Web版ならではの美しい画面を楽しんで頂けますので是非ご覧下さい。

和歌山だよりに対するご意見・ご感想をお聞かせ下さい。また、皆様がお持ちの和歌山に関する情報をご提供下さい。今後、皆様のお声を紙面づくりに活かしていきたいと考えています。

(下記のFAX(様式自由)、E-Mail等でお願ひします。)

■FAX 073-422-4032

■E-mail e0001003@pref.wakayama.lg.jp

和歌山県のホームページ

<http://www.pref.wakayama.lg.jp/>

ふるさと和歌山応援サイト

<http://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/furusato/>

\*個人情報につきましては、「和歌山だより」の発行以外の目的には、使用いたしません。



2011年(平成23年)5月 NO.37

和歌山県 秘書課

〒640-8585 和歌山県和歌山市小松原通1-1

TEL 073-441-2022